



Bell Friend

鈴鹿短期大学 鈴友会会報 No. 4
平成 25 年 2 月 1 日発行



ページ紹介



○ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	2
○鈴鹿短期大学の近況・・・・・・・・	3
○鈴鹿短期大学の今昔・・・・・・・・	4
○鈴友会総会報告・・・・・・・・	6
・事業報告及び会計報告	
・新役員の紹介	
○享栄学園創立 100 周年記念事業・・	8
○卒業生の近況・・・・・・・・	8



会 長

増田 文子
(昭和 44 年度卒業)



名誉会長

佐治 晴夫
(鈴鹿短期大学 学長)

鈴友会の皆様、お久しぶりです。お元気ですか。Bell Friend 4 号が出来上がりました。前号以降の 2 年間、皆様はどのようにお過ごしでしたでしょうか。東日本大震災、紀伊半島の風水害、その他諸々。今回ほど、自然の猛威に翻弄された日々はありませんでした。私たちの同窓生の中にも、何らかの形で影響をこうむられた方がおありではと思います。一日も早い復旧復興を衷心より願ってやみません。

実社会の多大な変化に時を同じくしたかのように、母校においてもそれが見受けられました。校舎の老朽化による耐震性の課題が浮上し、鈴鹿国際大学と同一敷地内に移転をした事です。短大が設立されてから 40 年以上経つのですから学校の様相が変化するのはあたりまえのことです。しかし、私たちの学生生活をじっと見守り続けてくれた学び舎には、やはり、格別なものがあります。そこで今回は、草創期からの学校の変遷をたどることにしました。校庭に植えられた木々、談笑をしたスペースなどを思い起こしながら読み進んでいただきたいと思います。あわせて、新校舎に設置された施設、器具などの充実度も、ご覧になって下さい。人それぞれ思いは違うでしょうが、学び舎が変われど変わらないものがあります。それは、喜々とした笑顔で過ごす学生の誇らしげな姿です。同窓生と再会し、学校を訪問し、そして、恩師の顔を拝見することにより、なぜかしらタイムスリップしたかのように思い起こされる自分の学生生活。そしてその思いが心に充満し、癒しとなり、明日への活力になります。本当に学校とは、学生生活とは理屈では推し量ることが出来ない不思議な存在ではないでしょうか。あらためて機会を作って自分の目で新しい大学を見に来て下さい。そして、同窓生に会ってください。貴方の最新情報を同窓会までご一報ください。役員一同お待ちしております。

更なる皆様の健闘をお祈りいたします。

今年の冬はほんとうに厳しい寒さが続きましたが、その分、夜空の美しさは格別です。見上げると、冬の星座は名残惜しげに西に傾き、それを追うかのように、夜半過ぎになると春の星座たちが、東の空から静かに上ってきます。季節は、まず夜空の中に姿をあらわすようです。さて、この季節の移りかわりは、今から数十億年の遠い昔に、火星くらいの大きさの星が地球に激突し、そのために自転軸が公転面に対して、23.5 度、傾いたことが原因です。そして、その時に飛び散った地球のかけらから 3 ヶ月で月ができ、その月からの引力が地球の傾きをしっかりと支えているために、春、夏、秋、冬の順序が決まっています。さらには、月の引力によって起る一日 2 回の潮の満ち引きが地球の自転にブレーキをかけて、現在の一日の長さが 24 時間になっています。そこで、もし、月がなかったら、自転の速さは 3 倍になり、毎日が風速 300 メートルの世界、それは、音速にも匹敵する時速 1000 キロメートルを超える風速で、ダンプカーでさえ空を舞うほどの超強風です。月は、古今東西、詩や文学の対象にされる存在であると同時に、私たちの現在の生活を支える重要な役割を担っているということです。目には見えない月の恩恵です。

さて、私は特定の宗教を信仰する信者ではありませんが、このところ、カトリック教会での神父との公開対話や、高野山大学 125 周年行事でのダライ・ラマ法王 14 世との公開対話、そして、地元伊勢神宮での最も重要な祭典である神嘗祭深夜の由貴夕大御饗（ゆきのゆうべのおおみけ）の参拝などを通して、すべての出来事は相互依存していて、それ故にすべてを受け入れるという全肯定の姿勢こそが明るい未来への第一歩であることを実感しています。みなさんの未来は、同じ学窓で学んだという事実の上にあり、したがってそれを全肯定することから、豊かな人生が拓けてくるようにも感じています。

鈴鹿短期大学の近況

生活コミュニケーション学科・専攻科

生活コミュニケーション学科長 川又 俊則

鈴短生たちは、45年間お世話になった庄野キャンパスを離れ、平成24(2012)年4月から、鈴鹿国際大学と同じ郡山キャンパスで新しいキャンパスライフが始まりました。以後、10月末までの半年間（の一部）を簡単に紹介します。

4月、大学体育館で入学式。生活コミュニケーション学専攻 養護教諭・福祉コース22名(全42名)、生活コミュニケーションコース12名(全17名)、食物栄養学専攻41名(全80名)、こども学専攻69名(全139名)、専攻科健康生活学専攻3名(全6名)。日本音楽療法学会東海支部大会も開催され、今年度、こども学専攻学生で音楽療法士2種資格取得者が誕生する予定です。

5月、食物栄養学専攻2年生の給食管理実習。大量調理の一部として教職員分予約枠はすぐ完売。国際大学の先生方からぜひ自分たちも食べたいとの声も多数上がっていました。

6月、学内研修。学生・教員で行う年2回の清掃活動。新キャンパスで普段行かない周辺地域の清掃。それに先立ち、避難訓練も実施。専攻科設立特別講演では医療的ケアを学びました。今年度修了の専攻科学生に養護教諭1種免許状・学士号授与が見込まれます。

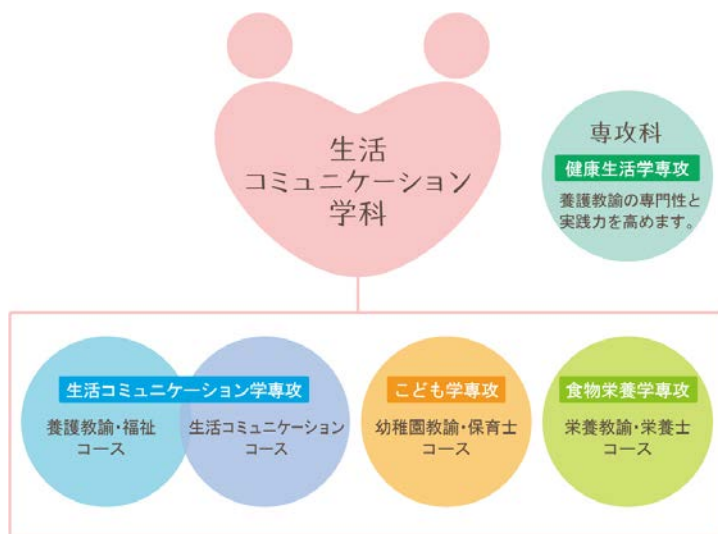
7月、こども学専攻の教員が七夕コンサート。地域に根差した活動が徐々に浸透。新キャンパスで初めてのオープンキャンパスは、近年で最大人数にご参加いただきました。

8月、生活コミュニケーション学研究所の年報第3号刊行。生活コミュニケーションコースは課外研修で、動物愛護や犬以外の飼育などを学びました。教員免許状更新講習も4年目の開催。参加者の方からはスタッフの対応含めご好評をいただくことができました。

9月、東海学校保健学会を開催。専攻科学生はスタッフ以外に、口頭・ポスター発表で研究成果を披露。今年の教員採用試験は、栄養教諭で初の現役合格者(合格者5名中)、一次試験で養護教諭志望現役生が本科・専攻科とも突破、最終的にOG7名が合格(17名中)。鈴鹿市制70周年記念事業スリランカ・フェスティバルでは、サークル 鈴短クッキング同好会 Tomato の学生も大いに活躍してくれました。

10月、こども学専攻で子育て支援教室を新実習室で実施。近隣から多くの保護者・幼児が、学生たちと楽しいひと時を過ごしました。22日はサークル スポーツ栄養サポート研究会 Grow up の学生も活躍し、ジュニアのためのスポーツ医科学講習会開催。大学(鈴国祭)と共催で鈴短祭。学友会学生他在校生たちが大いに盛り上げ、多くのOG・OBもご参加くださいました。

来年度、享栄学園は100周年を迎え、幾つかのイベントも企画いたします。大きな転換期ですが、鈴短は、在校生のため、また地域に根ざした教育研究機関の一つとして、教職員が一丸となり、引き続き尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



現在の専攻(本科)・専攻科の構成

鈴鹿短期大学の今昔

— 庄野キャンパスから郡山キャンパスへ移転 —

母校は、平成 24 (2012) 年 4 月から郡山キャンパス（鈴鹿国際大学と同じ）に移転しました。昭和 41（1966）年から 45 年間庄野キャンパスでは、卒業生 7,529 名が学び知性と教養を身につけ、それぞれが目指す社会へと巣立ち全国各地で活躍しています。新しい施設と設備の中で建学の精神が脈うつ「誠実で信頼される人に」の大学がスタートし、学生達にとってより良い快適なキャンパスライフが提供されています。

懐かしくそして発展しつづける母校を写真で紹介します。

初代学長



堀 敬文

(昭和 41 年 4 月～平成 12 年 3 月)

第 2 代学長



堀 敬紀

(平成 12 年 4 月～平成 16 年 3 月)

第 3 代学長



佐治 晴夫

(平成 16 年 4 月～ 現在)

庄 野 キ ャ ン パ ス (昭和 41 年 4 月～平成 24 年 3 月)

鈴鹿 山川 庄野キャンパス あの日 あの声 いつまでも



正門 (平成 21 年)



鈴峰寮 (昭和 54 年)



学生ホール (平成 4 年)



図書館 (昭和 59 年)



学生食堂 (昭和 54 年)



商経学科校舎 (昭和 59 年)



学生・教務課 (平成 18 年)

< 目標に向かって学ぶ学生達 (講義・実習) >



情報処理



アパレルプラント実習



養護実習



調理学実習



こどもと音楽

＜楽しく青春を謳歌する学生達（行事など）＞



入学式



商経学科開設記念式典



開学40周年式典(平成18年)



卒業式証書授与式



学位記授与式



入学オリエンテーション



スポーツ大会



親睦会



学園祭



修学旅行 (北海道)



海外語学研修旅行



卒業写真



卒業パーティー



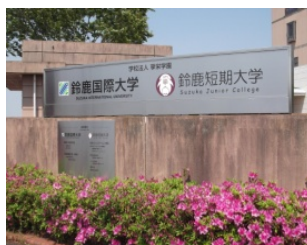
学友会

郡山キャンパス (平成24年4月～現在)

伊勢湾 鈴鹿山脈 一望できる郡山キャンパス 新しいドラマ づくり



南門



短大校舎



図書館



体育館



学生食堂



コンビニスタイルの売店



看護実習室



給食管理実習室



音楽室



第1コンピュータ室



入学式



鈴短祭



(岡野 節子・山田 芳子)

鈴友会 総会報告

平成 24 年

平成 24 年 9 月 8 日（土）に、郡山への移転後の校舎で開催し、無事終わることができました。今回は、ホームカミングデーという学校行事と合同開催でした。総会では、佐治晴夫名誉会長から大学の現況や 100 周年を迎える享栄学園についてのお話をいただきました。茶話会では、ホームカミングデーで準備いただいた軽食や短大「鈴短クッキング同好会 Tomato」の学生さんから手作りの美味しいマフィンなどご馳走になりました。また、昭和 57 年卒（養護教諭コース）の北林真純さんには、手工芸「ロザフィ」の作品を多数展示・ご紹介いただき会場が華やかになり多くの参加者大変喜ばれました。今回の総会への参加者は、昭和 45・46 年度、平成 6 年～10 年度・23 年度の卒業生を中心に呼びかけ、40 余名の参加があり、恩師の皆様と近況報告など話がつきない和気あいあいの会となりました。

茶話会後には、同日大学内で開催されていた東海学校保健学会での佐治学長の特別記念講演「あなたの時間・わたしの時間―宇宙のからくりから人生の意味を考える―」を拝聴しました。その後、先生方に新しい施設内をご案内いただきました。



現況を話される佐治名誉会長のご挨拶



増田会長の挨拶



恩師と懐かしく笑談する会員の皆さん、和やかな茶話会



新施設の見学

審議事項では、①平成 22・23 年度事業報告②平成 22・23 年度会計報告③平成 22・23 年度監査報告④「鈴友会会則」改正⑤享栄学園創立 100 周年記念事業への募金については鈴友会会員一同から 5 万円を寄付する⑥鈴友会役員改選⑦平成 24・25 年度事業計画、以上の各議案は拍手をもって承認されました。

会報 Bell Friend 4 号を発行します。享栄学園創立 100 周年記念事業への募金案内を同封して、卒業生の皆様にお送りいたします。

今回の総会は平成 26 年に開催され、昭和 47・48 年度、平成 11 年～15 年度、25 年度卒業生を対象に呼びかけますので、お友達とお誘い合わせのうえご参加ください。

（有竹 千鶴）

～ 総会に出席して ～

昭和 46 年度家政学科第三部卒

本山 美知子

当日は、明け方からの雷と大雨の荒れた天候でしたが昼からの鈴友会総会の開催時間には雨も上がり、ほっとしました。

初めての移転先（鈴鹿国際大学と同じ）での総会で、少し緊張しましたが和やかな雰囲気の中、お世話になった岩崎先生ともお会いでき、また、年代の違う同窓生の方々とも近況を伝えあったり、懐かしい話もでき、本当に楽しい時間を過ごしました。

昨年開催されましたホームカミングデーは、卒業生にとっては庄野キャンパス最後の集いと聞き、同窓の杉山（旧姓森川）さんと参加した日を思い出し、発展する短大を肌を感じ嬉しくなりました。

今でもミニ同窓会として数名が集まり食事会や一泊旅行をしたりして学生時代の思い出に花を咲かせています。



本山さんと岩崎先生

鈴友会 事業及び会計報告

●事業報告（平成22年4月1日～平成24年3月31日）

平成22年度 総会^{*1}・ホームカミングデー：6/5 役員会^{*2}：5/6. 6/3. 6/17. 7/8. 7/15. 1/20. 1/16 平成23年度 役員会^{*2}：10/20. 1/19 ホームカミングデー：10/22（校舎移転説明会）	*総会^{*1} ◎20・21年度会計・会計監査・事業報告 ◎会報発行 ◎ホームページ ◎役員選出 ◎22・23年度事業案 *役員会^{*2} ◎大学移転 ◎会報発行 ◎役員改選 ◎ホームページ開設について
--	---

●会計報告（単位：円）

平成22年度報告書（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

収入の部		支出の部	
前年度繰越金（普通預金） ^{※1}	669,222	印刷代	114,240
（定期預金）	2,911,317	事務費	7,583
終身会費（H22年度 卒業生）	475,000	通信費	32,185
利息（普通預金）	140	役員会議費	724
（定期預金）	4,658	人件費	35,825
雑収入	30,870	慶弔費	48,060
		卒業記念品	46,000
		消耗品費	2,092
		小 計	286,709
		次年度繰越金 ^{※2}	3,804,498
合 計	4,091,207	合 計	4,091,207

平成23年度報告書（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

収入の部		支出の部	
前年度繰越金（普通預金） ^{※1}	888,523	印刷代	9,870
（定期預金）	2,915,975	事務費	500
終身会費（H21年度 卒業生）	680,000	通信費	1,600
利息（普通預金）	166	人件費	45,350
（定期預金）	1,400	卒業記念品	66,500
		消耗品費	3,275
		小 計	127,095
		次年度繰越金 ^{※2}	4,358,969
合 計	4,486,064	合 計	4,486,064

※1 終身会費（H21年度 卒業生）¥555,000-含む

※2 終身会費（H22年度 卒業生）¥475,000-含む

※1 終身会費（H22年度 卒業生）¥475,000-含む

※2 終身会費（H23年度 卒業生）¥680,000-含む

上記の通り、ご報告させていただきます。

会計 三浦 彩 印

以上、監査するに事実相違ありません。

監査 高久 岳博 印

新役員の紹介

本部役員

名誉会長	佐治 晴夫	（学長）
会 長	増田 文子	（昭和44年度・食物栄養専攻卒）
副会長	鎌田 美千代	（昭和56年度・家政専攻養護教諭コース卒）
書 記	永岡 宏行	（平成16年度・食物栄養専攻卒）
	米田 綾夏	（平成15年度・生活学専攻卒）
会 計	元木 ひとみ	（平成4年度・商経学科卒）
	山本 典子	（昭和60年度・食物栄養専攻卒）
監 事	渡辺 久孝	（事務局長）
顧 問	福永 峰子	（昭和53年度・食物栄養専攻卒）
	岡野 節子	（昭和45年度・食物栄養専攻卒）
	有竹 千鶴	（昭和61年度・商経学科卒）
事 務 局	米田 綾夏	（平成15年度・生活学専攻卒）

滋賀県支部役員

支部長	伊藤 裕美	（昭和52年度・家政専攻養護教諭コース卒）
副支部長	植村 靖子	（昭和47年度・食物栄養専攻卒）

享栄学園創立 100 周年記念事業

「創立 100 周年募金」ご協力のお願い

鈴鹿国際大学・鈴鹿短期大学事務局長 渡辺 久孝

100 周年記念事業委員（鈴鹿短期大学代表） 福永 峰子

皆様、社会やご家庭におかれましてお元気にご活躍のことと存じます。

本年度、鈴鹿短期大学は郡山キャンパスに移転し、学生も新しい生活に慣れ、10 月 27・28 日には鈴鹿国際大学の学生とともに大勢の地域の方々をお迎えし盛大に大学祭を楽しんだところです。この他にも 1 年間を通して様々な行事や公開講座などを開いておりますので、是非皆様も気軽に新キャンパスをお訪ねください。

さて、鈴鹿短期大学は昭和 41 (1966) 年に開学しましたが、母体である学校法人享栄学園は大正 2 (1913) 年、名古屋市で堀栄二先生の私塾の開設から始まり、「誠実で信頼される人に」という建学の精神のもと、数多くの卒業生を輩出し、平成 25 (2013) 年度に創立 100 周年を迎えることになりました。

つきましては、創立 100 周年を記念し、同封の「総合募金のご案内」にありますように、更なる本学園の充実・発展をめざして、いくつかの計画をしております。諸情勢厳しき折に、誠に恐縮ですが、皆様には本趣旨をご理解いただきまして、募金へのご協力をお願い申し上げます。

なお、学園の中でも特に鈴鹿短期大学に寄付をしたいとお考えの方には、所定の振込取扱票に寄付指定項目欄がございますので指定することができますことを申し添えます。

～ 卒業生の近況 ～

- ◆平成 5 年よりリボンアートインストラクターとリボン盆栽講師の免許を取得。鈴鹿市内の公民館等で講師をしたりしています。生涯学習として年輩の方々や、小学校の子供達の仕事教室等にたずさわっています。(昭和 46 年度卒)
- ◆旧校舎がなくなりさみしく思いましたが、新校舎の立派な様子が短大のこれからの発展に希望がもてた気がし、安心しました。母校は、本当に楽しい思い出があります。今回、先生にもお会い出来、良い楽しい一日が過ごせました、ありがとうございました。私は今二人の孫に恵まれ、手芸やビーズ、料理教室などに参加し楽しく過ごしております。(昭和 46 年度卒)
- ◆鈴鹿市給食調理員。現在、鈴西小学校で勤務中です。(平成 9 年度卒)
- ◆同級生の方より、総会・茶話会開催の連絡をいただき、同級生 6 人集まりました。岩城先生、出雲先生、伊藤先生、田中利佳先生とお会いでき、とても楽しく過ごすことができました。みんなそれぞれ、毎日忙しくしていますが、なつかしい顔ぶれで話せて元気になりました。ありがとうございました。(昭和 61 年度卒)
- ◆今回、何年かぶりに、総会に出席させていただきました。学生の頃の担当先生に会う事ができ、うれしさとなつかしさで、胸があつくなる思いでした。(昭和 46 年度卒)

編集後記

- ・この度は、4 号発行にあたりご執筆いただきました皆様方に、また、貴重な写真をたくさん使わせていただきました。心よりお礼申し上げます。
- ・郡山キャンパスから未来に向かってのスタートは、更なる鈴鹿短期大学の発展が期待されます。微力ではありますが母校と卒業生の皆様とのネットワークづくりを推進してまいります。
- ・創立 100 周年記念事業の募金の趣旨をご理解いただき、母校の教育研究等の充実に協力をお願いします。
- ・鈴鹿短期大学ホームページでは同窓会関連のイベントなどたくさんの情報を掲載しています。クラス会報告、近況報告等も、下記アドレスから見るができますのでぜひ、ご覧ください。

* 同窓会のホームページ * HP: <http://www.suzuka-jc.ac.jp/> (鈴鹿短期大学 HP 内)